手術支援ロボ ３台体制に

宇治徳洲会病院 最新型を導入

受け入れ数増 早期回復後押し

宇治徳洲会病院が新たに導入した手術支援ロボット「ダヴィンチ5」（宇治市槇島町）

宇治徳洲会病院（宇治市槇島町）は、最新型の手術支援ロボットを新たに導入し、既に使っている2台を含めた3台体制での運用をスタートした。受け入れられる患者数を増やし、早期の回復と社会復帰を後押しする。

手術支援ロボットは、複数のアームを外科医が操作する。患者の身体への負担が少ない「低侵襲手術」が可能で、術後の痛みの軽減や早期の社会復帰に有効とされる。

同病院は、4本のアームを束ねた「ダヴィンチXi」と、4本のアームが独立した「Hugo」の2台を所有する。昨年は約200件の手術に使った。高齢化や早期回復のニーズの高まりを受けて、3台目の導入を決めた。

宇治徳洲会病院が所有する（左から）「ダヴィンチXi」、「ダヴィンチ5」、「Hugo」

新たに購入したのは最新型の「ダヴィンチ5」。坂井義治・がん統括センター長によると、基本的な操作は「Xi」と同じだが、「（Xiよりも）非常に細かい繊維まで見ることができ、切りたい場所がはっきりと分かる」とする。

臓器別の練習プログラムも搭載。AI（人工知能）が医師の手技の良い点、悪い点を分析する機能もあり、技術向上や、訓練の効率化による働き方改革にも期待している。

9月29日から3台体制をスタートし、今年の受け入れ件数は300件以上を見込んでいる。坂井センター長は「キャパシティー（対応できる手術件数）の増加だけでなく、患者への安全な手術の提供にもつながる」と語る。

（南真臣）

南部総局
〒613-0033
久御山町林高黒1-8
代 表 0774(45)1212
FAX 0774(45)1214
nanbu@mb.kyoto-np.co.jp

京田辺・学研支局
〒610-0334
京田辺市田辺中央1-1-5 ＢＩＴダイエイビル３Ｆ
代 表 0774(63)7433
FAX 0774(68)1414
kyotanab@mb.kyoto-np.co.jp